

## 市長のあまねくつぶやき

明けましておめでとうございます。

今年の干支は「未（ひつじ）」です。

この「未」の字は、まだ果実が熟しきらない成長過程の状態を表すということ、象形文字で木の枝葉が茂った様を表しています。もう一方の「羊」は、群れをして同じ行動をとり大勢で暮らすことから、「群」の漢字は「羊」から作られました。群れをなす羊は家族の安泰を意味しています。

未年の出来事を振り返ってみると、世界では、第2次オイルショックによる原油価格急騰（昭和54年）、新型肺炎SARSの大流行（平成15年）、国内では牛肉・オレンジの輸入自由化（平成3年）、東京・大阪・名古屋の一部で「地上波デジタル放送」開始（平成15年）などがあります。日本漢字能力検定協会が発表した平成26年の漢字は「税」で、昨年、私が掲げた漢字は「森」でした。昨年は、マル福の拡充や5歳児交流会の開催、本市限定の「エリア放送」を平成28年度までに整備することの決定、農畜水産業を振興するため、さまざまな関係団体と連携してブランド化に努めてまいりました。また、市民の皆さんのご協力により、「第1回行方ふれあいまつり」を盛大に開催することができました。

平成27年は市制施行10周年を迎えた年になります。これらをふまえた中で、私の今年の目標とする漢字は「本」でいこうと思います。

この漢字は、「ほん」とも読みますが、「もと」とも読み、字の由来として木の根の太い部分に印を付けた部分を示します。漢語では「太い木の根」や「草木の根」を指し、日本では、物事の「根本」、「基本」といった意味から「手本」や「模範とすべきもの」の意味を表すようになつたそうです。

本年は、次の10年を見据えたまちづくりの方向性、ベーシック（根本・基本）となる総合計画を策定する年です。引き続き、行方市の発展に向けてまい進していく所存です。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

行方市長 鈴木周也

市長へのEメール  
投稿用2次元コード



市政に対する意見や  
提案をメールでお寄せください。



## はい、こちら消費生活センター！

### 悪質訪問販売お断りステッカーをお配りします！



行方市消費生活センターでは、市民の皆さまが安全で安心な消費生活を築き、豊かなくらしを守るために消費・生活に関するトラブルや対策方法などの相談対応、また情報の提供を行っています。

特に訪問販売や電話勧誘販売は、不意打ち的に突然やって来た業者に勧められるがまま商品を購入してしまったり、工事などの契約をしてしまったりするため、トラブルになりやすく多くの相談が寄せられています。また、ニセ電話詐欺の昨年の被害額は茨城県内で10億円を超えており深刻な状況です。

そこで、行方市消費生活センターではこういった被害を未然に防ぐため「悪質訪問販売お断りステッカー」をお配りしています。玄関先や電話の近くなど、普段から目につくところに貼ってご活用ください。お手元にない場合はお気軽に行方市消費生活センターにお問い合わせください。

何か消費生活でトラブルに巻き込まれてしまったり、お困りのことがあれば、一人で悩まず行方市消費生活センターにご相談ください。

— まずはお電話を！ —

【問い合わせ】消費生活センター TEL 0291-34-6446